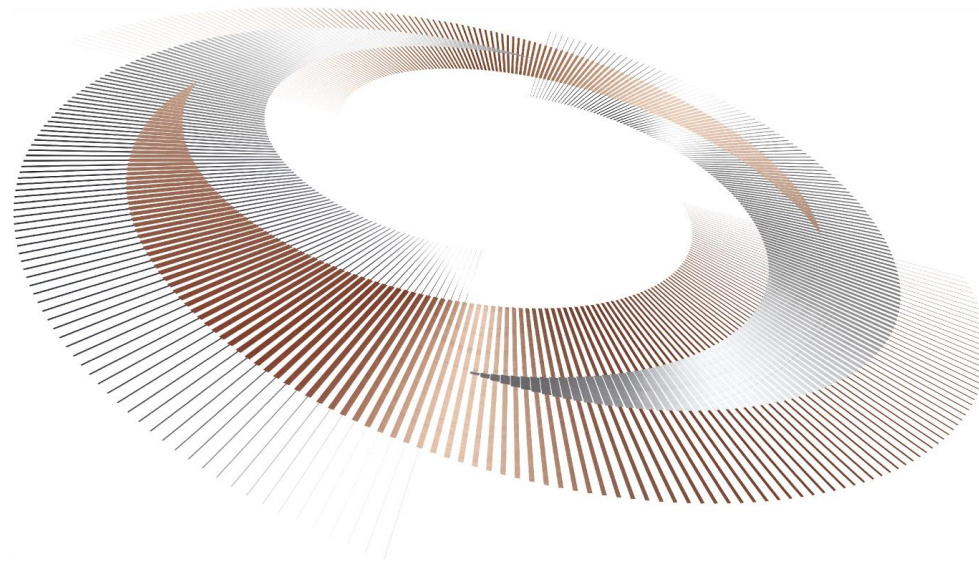


# 2025年3月期第2四半期決算補足説明資料

---

2024年11月8日



## 人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。

そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。

その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。

そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。

# 目次

---

1.	エグゼクティブサマリ	P.4
2.	損益推移の状況（四半期）	P.5
3.	25年3月期上期実績	P.6
4.	連結貸借対照表	P.8
5.	25年3月期通期業績予想	P.9
6.	セグメント概況	P.10
7.	UBE三菱セメント社概況	P.14
8.	キャッシュフロー・ネットDEレシオ	P.15
9.	参考情報	P.16

# エグゼクティブサマリ

## 景況感

- 自動車市場は、世界の販売台数は欧米を中心に低調に推移している。下期は緩やかな需要回復が予想される。
- 半導体市場は、生成AI関連など先端分野は引き続き好調、全体では緩やかな回復傾向である。川上に位置する半導体材料メーカーの需要回復は来期となる見込み。

## 上期実績

(対前年同期比)

上期実績は、対前年同期比で**増収・増益**。

- 売上高は、銅価格の上昇や為替の円安などにより**増収（7,161億円→9,895億円、対前年同期比+38%）**。
- 営業利益は、2Qでの金属事業における実収効率の改善や為替の円安などにより**増益（119億円→275億円、対前年同期比+131%）**。
- 経常利益は、営業利益の増益に加えて、持分法投資利益が増加したことなどにより**増益（184億円→249億円、対前年同期比+35%）**。
- 純利益は、1Qに計上したPT. Smelting（インドネシア）の持分法適用関連会社化に伴う持分変動利益などにより**増益（111億円→246億円、対前年同期比+122%）**。

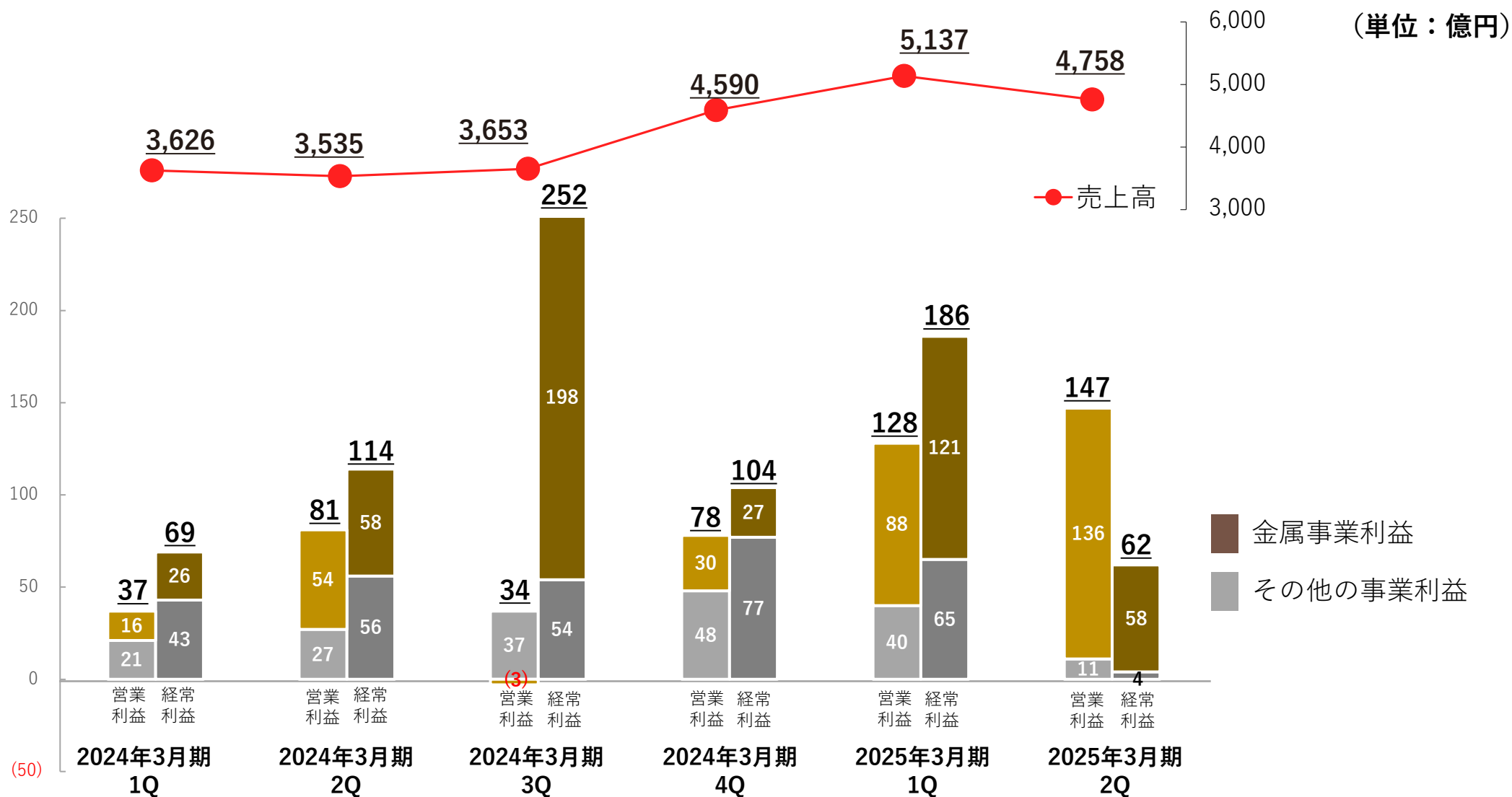
## 通期予想

上期実績及び下期の需給の動向、金属事業での実収効率改善などを考慮し、セグメント別の見直しは見直しているが、**通期の連結業績予想・配当予想に変更なし**。

- 下期の自動車市場・半導体市場の需要回復は、当初想定に比べ緩やかとなることが予想され、当社の伸銅品、超硬製品は下期も低調に推移する見込み。
- 為替は、今後の不透明感は強いが、足元水準で推移すると想定。

# 損益推移の状況（四半期）

- 売上高は、為替が円高に推移したことなどにより前四半期比△378億円の4,758億円。
- 営業利益は、実収効率の改善などにより金属事業利益が増加し前四半期比+19億円の147億円。
- 経常利益は、金銭債権債務に係る為替差損の計上などにより前四半期比△123億円の62億円。



(50)

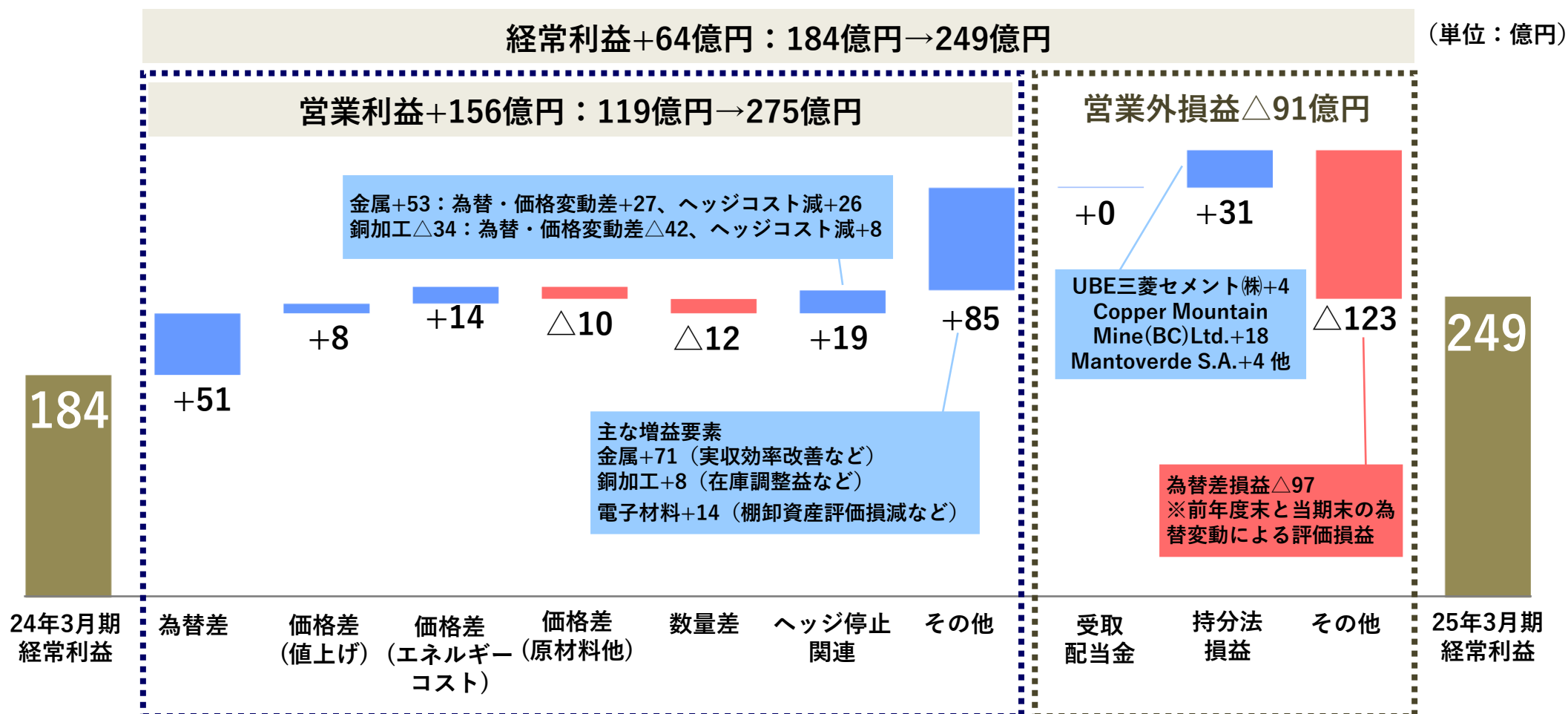
# 25年3月期上期実績（連結損益計算書）

（単位：億円）

項目	24年3月期 上期実績(a)	25年3月期 上期実績(b)	増減(b-a)
売上高	7,161	9,895	+2,733
営業利益	119	275	+156
受取配当金	11	11	+0
持分法損益	45	76	+31
経常利益	184	249	+64
特別損益	△0	71	+72
親会社株主に帰属する 中間純利益	111	246	+135
ドル為替 (円/\$)	141	153	+12
ユーロ為替 (円/€)	153	166	+13
銅価格 (¢/lb)	382	430	+48
金価格 (\$/oz)	1,954	2,407	+453
パラジウム価格 (\$/oz)	1,350	971	△379

# 25年3月期上期実績（経常損益要因内訳）

- 営業利益は、銅加工事業、加工事業の販売は減少。円安による為替差、為替・価格変動差、実収効率の改善などにより275億円（前年度実績+156億円の増益）となった。
  - 経常利益は、2Qでの急激な為替の円高により金銭債権債務に係る為替差損の計上があった。営業利益の増加、持分法投資損益の増加などにより249億円（前年度実績+64億円の増益）となった。
  - ヘッジ停止により、上期では営業利益+19億円（為替・価格変動差△15億円、ヘッジコスト減少+34億円）、営業外損益△19億円となり、ヘッジ停止による影響は上期全体では±0億円となった。
- ※1Qは為替・価格変動差+75億円、ヘッジコスト減少+17億円であった。



# 連結貸借対照表

(単位：億円)

項目	24年3月末 (a)	24年9月末 (b)	増減 (b - a)
流動資産	12,830	14,022	+1,191
固定資産他	8,845	8,446	△399
<b>資産 計</b>	<b>21,676</b>	<b>22,468</b>	<b>+792</b>
自己資本比率	30 %	29 %	△1 %
ネット DEレシオ	0.7 倍	0.9 倍	+0.2 倍

項目	24年3月末 (a)	24年9月末 (b)	増減 (b - a)
借入金・社債・ CP	6,031	6,614	+582
その他負債	8,788	9,113	+325
<b>負債 計</b>	<b>14,820</b>	<b>15,728</b>	<b>+908</b>
自己資本	6,536	6,603	+67
非支配株主持分	319	136	△182
<b>純資産 計</b>	<b>6,856</b>	<b>6,740</b>	<b>△115</b>
<b>負債純資産 計</b>	<b>21,676</b>	<b>22,468</b>	<b>+792</b>



# 25年3月期 通期業績予想

- 下期の自動車市場・半導体市場の需要回復は、当初想定に比べ緩やかとなることが予想され、当社の伸銅品、超硬製品は下期も低調に推移する見込み。
- 為替は今後の不透明感が強いが、足元水準で推移すると想定。
- それらに加えて、金属事業での実収効率改善などを考慮し、セグメント別の見直しは見直しているが、通期の連結業績予想・配当予想に変更なし。

損益計算書		前回 予想(a)	今回 予想(b)	増減 (b-a)	
売上高	億円	19,500	19,500	-	
営業利益	億円	410	410	-	
経常利益	億円	630	630	-	
親会社株主に帰属 する当期純利益	億円	450	450	-	
一株配当	中間	円	50	50	-
	期末	円	50	50	-

為替・金属価格		前回 予想(a)	今回 予想(b)	増減 (b-a)
ドル為替	円/\$	150	151	+1
ユーロ為替	円/€	160	163	+3
銅価格	¢/lb	400	415	+15
金価格	\$/oz	2,000	2,353	+353
パラジウム価格	\$/oz	1,100	1,036	△64

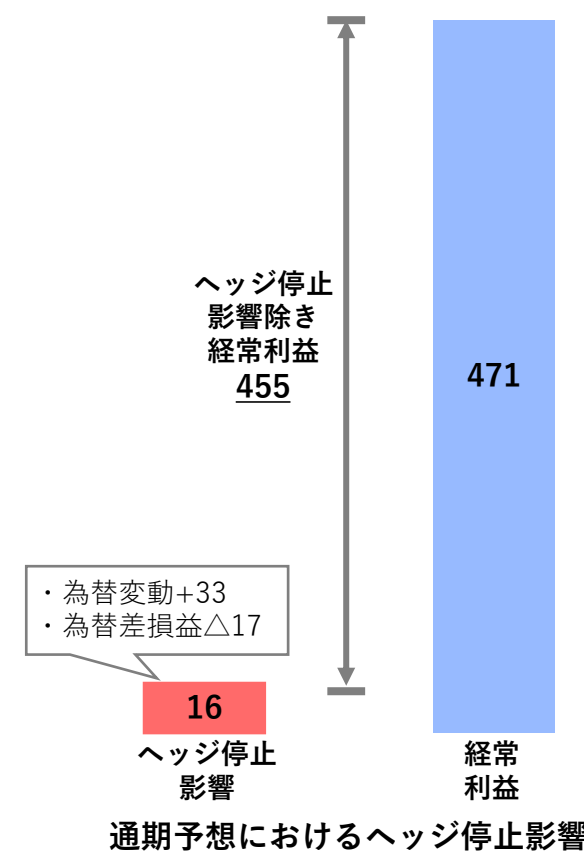
感応度*1				下期 影響額
為替	営業利益1円/\$円安	億円		+3.3
	営業利益1円/€円安	億円		+0.8
銅価格	営業利益10¢/lb	億円	a	+2.7
	営業外損益10¢/lb	億円	b	+5.7
	経常利益10¢/lb	億円	a+b	+8.5

\*1:感応度に在庫評価影響は含んでおりません。

# セグメント概況（金属事業）

- 上期実績は、為替が円安基調で推移し、為替差やヘッジ停止による為替・価格変動差での増益があったことに加えて、実収効率の改善、持分法投資損益の改善などにより経常利益は180億円（前年度実績+95億円の増益）となった。
- 通期予想は、実収効率の改善に加えて、硫酸手取りの良化、銅鉱山からの受取配当金の増加などにより経常利益は471億円（前回予想+101億円の増益）を見込む（通期でのヘッジ停止による影響は+16億円）。

項目		24年3月期	25年3月期	増減 (b-a)	前回予想	今回予想	増減 (d-c)
		上期実績 (a)	上期実績 (b)		(c)	(d)	
売上高	億円	4,768	7,324	+2,556	13,537	14,294	+757
営業利益	億円	71	224	+152	165	287	+121
経常利益	億円	84	180	+95	370	471	+101



## 経常利益増減要因内訳

	上期実績増減	通期見通し増減
為替差	+24	+4
価格差 * 1	+2	+14
数量差	+2	△19
受取配当金	+0	+28
持分法損益	+24	△26
その他 * 2	+43	+100
<b>経常利益増減</b>	<b>+95</b>	<b>+101</b>

## \* 1価格差の主な内訳

上期実績増減	エネルギー価格差+10 パラジウム△2他
通期見通し増減	硫酸手取り良化他

## \* 2その他の主な内訳

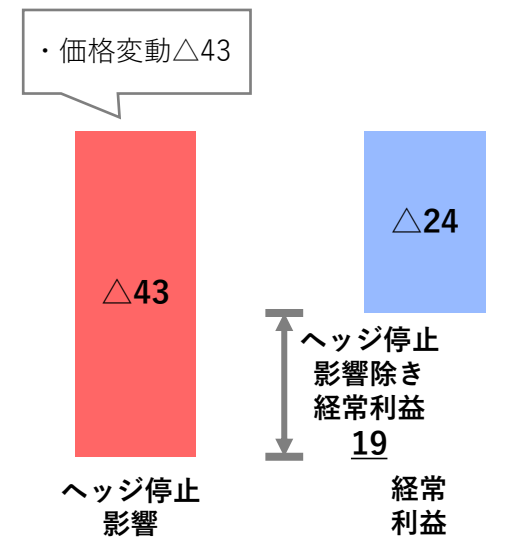
上期実績増減	実収効率改善+70、為替価格変動差+27 ヘッジコスト+26、為替差損益△82他
通期見通し増減	実収効率改善+84、為替価格変動差+33 為替差損益△24 (内、ヘッジ停止影響△17)他

# セグメント概況（銅加工事業）

- 上期実績は、為替の円安による増益、ヘッジコストの減少があったものの、銅分のヘッジ停止による為替・価格変動差での減益などにより経常利益は△34億円（前年度実績△31億円の減益）となった。
- 通期予想は、自動車市場、半導体市場の需要回復が当初想定に比べ緩やかとなることに加えて銅分のヘッジ停止による為替・価格変動差などにより経常利益は△24億円（前回予想△97億円の減益）を見込む。
- ヘッジ停止による影響（△43億円）を除いた通期の経常利益は19億円。

項目	24年3月期 上期実績 (a)	25年3月期 上期実績 (b)	増減 (b-a)
売上高 億円	2,043	2,229	+185
営業利益 億円	10	△14	△25
経常利益 億円	△2	△34	△31

前回予想 (c)	今回予想 (d)	増減 (d-c)
5,149	4,579	△570
107	13	△93
73	△24	△97



通期予想におけるヘッジ停止影響

## \*1価格差の主な内訳

上期実績 増減	エネルギー価格差+2 価格改定+3他
通期見通し 増減	

## \*2その他の主な内訳

上期実績 増減	為替価格変動差△42 ヘッジコスト+8他
通期見通し 増減	為替価格変動差△43他

## 経常利益増減要因内訳

	上期実績 増減	通期見通し 増減
為替差	+2	+3
価格差*1	+2	+2
数量差	△3	△78
その他*2	△32	△24
<b>経常利益増減</b>	<b>△31</b>	<b>△97</b>

# セグメント概況（電子材料事業）

- 上期実績は、半導体関連製品の一部販売に回復の兆しがみられたものの、シール製品が在庫調整局面となり、事業全体での販売は前年同期並み。棚卸資産の在庫評価損益などにより経常利益は16億円（前年度実績+9億円の増益）となった。
- 通期予想は、半導体向けの需要回復時期が想定から後ろ倒しとなり販売は減少する見込み。棚卸資産の在庫評価損益や発生経費の減少などにより経常利益は前回予想並みの37億円（前回予想△1億円の減益）を見込む。

項目	24年3月期 上期実績(a)	25年3月期 上期実績(b)	増減 (b-a)	前回予想(c)	今回予想(d)	増減 (d-c)
売上高 億円	388	388	△0	840	747	△92
営業利益 億円	0	9	+9	29	24	△5
経常利益 億円	6	16	+9	38	37	△1

## 経常利益増減要因内訳

	上期実績 増減	通期見通し 増減
為替差	+0	+1
価格差	△2	△3
数量差	△3	△15
受取配当金	+0	-
持分法損益	△0	+2
その他*1	+14	+14
<b>経常利益増減</b>	<b>+9</b>	<b>△1</b>

## \*1その他の主な内訳

上期実績 増減	棚卸資産評価損益+13他
通期見通し 増減	棚卸資産評価損益+3、減価償却費+4他



## セグメント概況（加工事業）

- 上期実績は、為替の円安や値上げ効果などがあったものの、販売においては自動車向けの需要が低調であったことに加えて、2Qでの急激な為替円高による金銭債権債務に係る為替差損の計上などにより経常利益は前期並みの63億円（前年度実績△0億円の減益）となった。
- 通期予想は、値上げ効果や発生コストの減少を見込むが、自動車向けの需要回復が当初想定より緩やかになる見込みなどにより経常利益は108億円（前回予想△31億円の減益）を見込む。

項目	24年3月期 上期実績(a)	25年3月期 上期実績(b)	増減 (b-a)	前回予想(c)	今回予想(d)	増減 (d-c)
売上高 億円	698	746	+48	1,944	1,528	△415
営業利益 億円	52	68	+16	143	111	△31
経常利益 億円	63	63	△0	140	108	△31

## 経常利益増減要因内訳

	上期実績 増減	通期見通し 増減
為替差	+23	+5
価格差*1	+10	+17
数量差	△10	△74
受取配当金	+0	-
その他*2	△23	+21
<b>経常利益増減</b>	<b>△0</b>	<b>△31</b>

## \*1価格差の主な内訳

上期実績 増減	値上げ効果+5他
通期見通し 増減	値上げ効果他

## \*2その他の主な内訳

上期実績 増減	為替差損益△15他
通期見通し 増減	リベート、販売費および一般管理費減他

# UBE三菱セメント社概況

## ■UBE三菱セメント社連結損益計算書 (単位：億円)

項目		24年3月期 上期実績	25年3月期 上期実績	25年3月期 通期予想
売上高	国内事業	2,061	1,885	3,840 (4,100)
	海外事業	927	1,002	1,880 (1,950)
	計	2,989	2,887	5,720 (6,050)
営業利益	国内事業	35	77	160 (150)
	海外事業	180	199	300 (280)
	計	215	277	460 (430)
経常利益		224	286	460 (420)
親会社株主に帰属する純利益		130	155	220 (210)

( )は2024年5月14日に発表した予想

## ■当社持分法投資損益

持分法投資損益	67	72	99 (96)
---------	----	----	------------

- 国内事業： (上期) 売上高は、環境エネルギー事業における販売数量減少や石炭市況下落による影響が大きく減収となったが、営業利益は、前年度実施のセメント値上や熱エネルギー価格低下の効果によりセメント事業の収益性が改善し増益となった。  
(通期) 下期は上期と同様の傾向で推移する見通しにあり、通期でも減収増益を見込む。
- 海外事業： (上期) 米国事業はセメント・生コンの販売数量が減少したものの、前年度実施の値上効果や為替影響が寄与し増収増益。豪州石炭事業は販売価格の下落等により減収減益、海外事業全体では増収増益となった。  
(通期) 米国事業の下期は、第4四半期で悪天候影響を受けた前年を上回る販売数量を見込むも、コスト上昇等の影響により増収減益。豪州石炭事業の下期も増収減益となる見通しにあり、海外事業全体の通期営業利益は前年並みを見込む。

## ■UBE三菱セメント社諸元

項目		24年3月期 上期実績	25年3月期 上期実績	25年3月期 通期予想
セメント (国内総需要)	万 t	1,739	1,634	3,300 (3,500)
セメント (国内)販売数量	万 t	415	387	800 (850)
セメント (米国)販売数量	万st	93	84	170 (179)
生コン (米国)販売数量	万cy	381	349	660 (704)
一般炭価格 (参考指標)	\$/ t	154	138	144 (180)
ドル為替	円/\$	141	153	149 (145)

※上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 24年9月末 連結貸借対照表

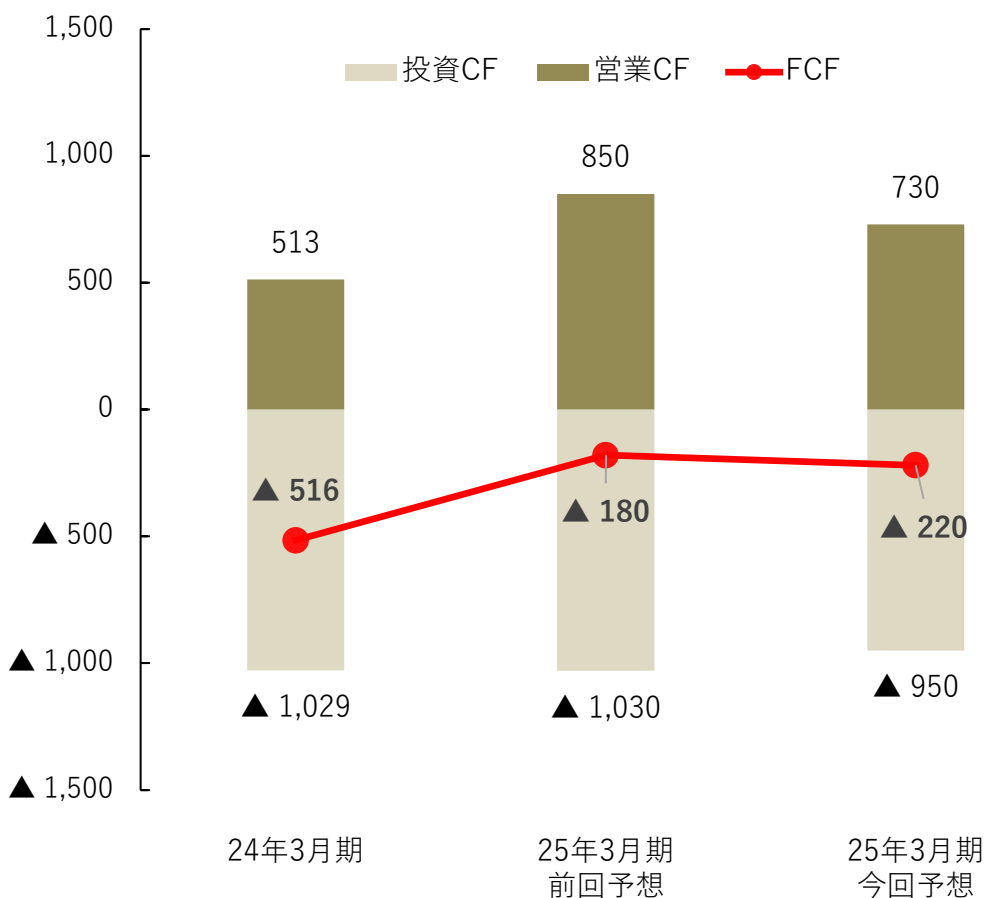
(単位：億円)

総資産	7,911	有利子負債	1,650	自己資本	3,734
自己資本比率	47.2%	ネットD/Eレシオ	0.23倍		

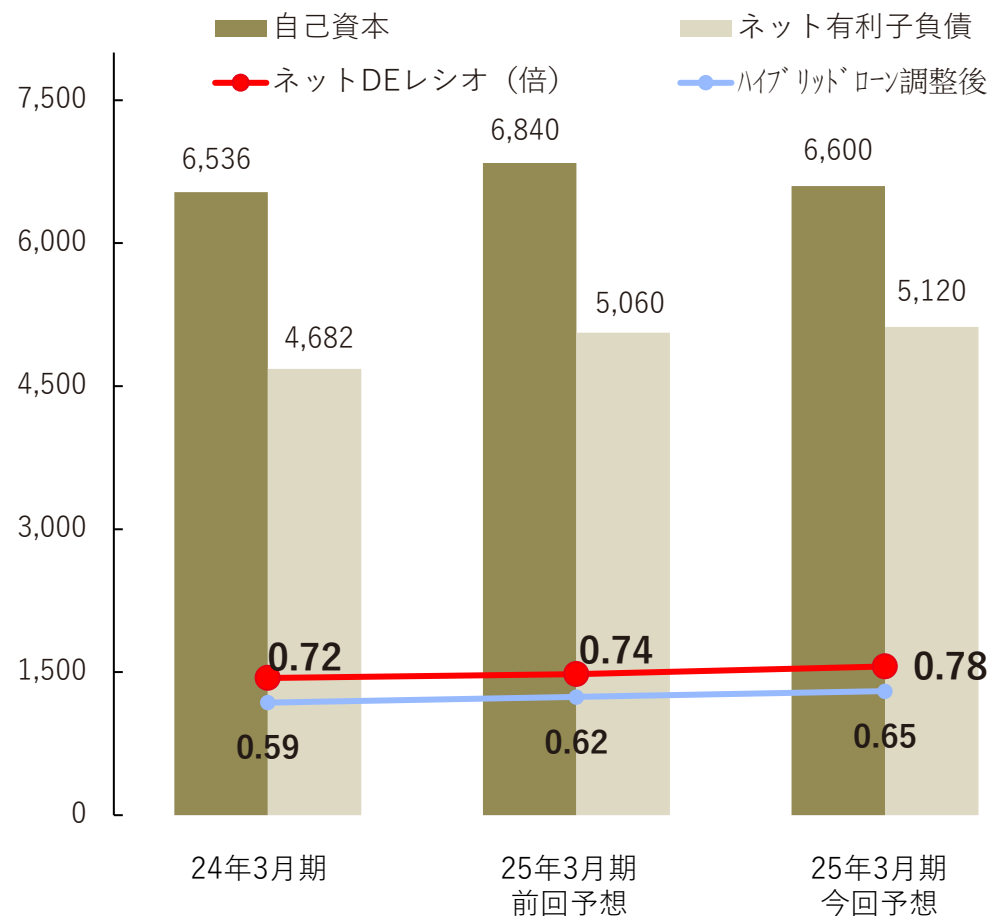
# キャッシュフロー・ネットDEレシオ

- 上期の実績、下期の需給動向等を考慮した結果、販売の減少などによりキャッシュインが減少する見通し。計画していた投資案件の先送りや内容の見直しなどによりキャッシュアウトの圧縮を図ることでFCFは、△220億円（前回予想△40億円）を見込む。
- ネットDEレシオは、0.78倍となる見込み。

(億円) キャッシュフロー



(億円) ネットDEレシオ



## 参考情報

---



# セグメント別増減内訳（上期実績前年同期対比）

（単位：億円）

項目	24年3月期 上期実績(a)			25年3月期 上期実績(b)			増減 (b-a)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
金属	4,768	71	84	7,324	224	180	+2,556	+152	+95
高機能製品 *1	2,429	8	1	2,611	△10	△23	+182	△18	△24
銅加工	2,043	10	△2	2,229	△14	△34	+185	△25	△31
電子材料	388	0	6	388	9	16	△0	+9	+9
加工	698	52	63	746	68	63	+48	+16	△0
再生可能 エネルギー	22	2	3	45	16	18	+22	+14	+15
その他	725	15	82	727	21	89	+2	+6	+7
調整額	△1,482	△31	△51	△1,559	△45	△79	△77	△14	△28
<b>合計</b>	<b>7,161</b>	<b>119</b>	<b>184</b>	<b>9,895</b>	<b>275</b>	<b>249</b>	<b>+2,733</b>	<b>+156</b>	<b>+64</b>

\*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

# セグメント別増減内訳（通期予想前回予想対比）

（単位：億円）

項目	前回予想(a)			今回予想(b)			増減 (b-a)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
金属	13,537	165	370	14,294	287	471	+757	+121	+101
高機能製品 *1	5,975	130	104	5,314	29	5	△661	△100	△99
銅加工	5,149	107	73	4,579	13	△24	△570	△93	△97
電子材料	840	29	38	747	24	37	△92	△5	△1
加工	1,944	143	140	1,528	111	108	△415	△31	△31
再生可能 エネルギー	89	23	24	86	24	26	△2	+0	+2
その他	1,523	29	113	1,656	41	154	+133	+12	+41
調整額	△3,570	△81	△123	△3,381	△84	△136	+189	△2	△13
<b>合計</b>	<b>19,500</b>	<b>410</b>	<b>630</b>	<b>19,500</b>	<b>410</b>	<b>630</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>

\*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

# 前年実績対比（セグメント別要因内訳）

（単位：億円）

項目		24年3月期 上期実績 (a)	25年3月期 上期実績 (b)	増減 (b - a)	為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他
金属	売上高	4,768	7,324	+2,556	+505	+960	+1,091	-	-	-
	営業利益	71	224	+152	+24	+2	+2	-	-	+124
	経常利益	84	180	+95	+24	+2	+2	+0	+24	+43
高機能製品 * 1	売上高	2,429	2,611	+182	+195	+141	△154	-	-	-
	営業利益	8	△10	△18	+3	+1	△6	-	-	△16
	経常利益	1	△23	△24	+3	+1	△6	△0	△0	△22
銅加工	売上高	2,043	2,229	+185	+189	+144	△148	-	-	-
	営業利益	10	△14	△25	+2	+2	△3	-	-	△26
	経常利益	△2	△34	△31	+2	+2	△3	△0	-	△32
電子材料	売上高	388	388	△0	+6	△2	△4	-	-	-
	営業利益	0	9	+9	+0	△2	△3	-	-	+14
	経常利益	6	16	+9	+0	△2	△3	+0	△0	+14
加工	売上高	698	746	+48	+43	+18	△13	-	-	-
	営業利益	52	68	+16	+23	+10	△10	-	-	△7
	経常利益	63	63	△0	+23	+10	△10	+0	-	△23
再生可能 エネルギー	売上高	22	45	+22	-	△0	△0	-	-	+22
	営業利益	2	16	+14	-	△0	+0	-	-	+14
	経常利益	3	18	+15	-	△0	+0	△0	+2	+13
その他	売上高	725	727	+2	+5	-	△3	-	-	-
	営業利益	15	21	+6	+0	-	+1	-	-	+5
	経常利益	82	89	+7	+0	-	+1	△0	+4	+2
調整額	売上高	△1,482	△1,559	△77	△86	△111	+120	-	-	-
	営業利益	△31	△45	△14	-	-	+0	-	-	△14
	経常利益	△51	△79	△28	-	-	+0	+0	-	△28
合計	売上高	7,161	9,895	+2,733	+664	+1,009	+1,038	-	-	+22
	営業利益	119	275	+156	+51	+12	△12	-	-	+104
	経常利益	184	249	+64	+51	+12	△12	+0	+31	△19

\* 1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

# セグメント別四半期推移

(単位：億円)

項目		24年3月期							25年3月期				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期
金属	売上高	2,409	2,358	4,768	2,395	3,216	5,611	10,380	3,900	3,424	7,324	6,970	14,294
	営業利益	16	54	71	△3	30	27	98	88	136	224	62	287
	経常利益	26	58	84	198	27	225	310	121	58	180	290	471
高機能製品 *1	売上高	1,205	1,224	2,429	1,253	1,204	2,457	4,887	1,323	1,288	2,611	2,702	5,314
	営業利益	4	3	8	16	16	32	40	23	△33	△10	40	29
	経常利益	2	△0	1	8	8	16	18	20	△43	△23	28	5
銅加工	売上高	1,016	1,027	2,043	1,059	999	2,058	4,102	1,130	1,098	2,229	2,349	4,579
	営業利益	5	5	10	8	7	15	26	17	△32	△14	27	13
	経常利益	△0	△1	△2	△2	△1	△3	△5	8	△42	△34	9	△24
電子材料	売上高	189	199	388	201	208	410	799	198	189	388	359	747
	営業利益	1	△1	0	7	9	17	17	7	1	9	15	24
	経常利益	4	2	6	9	11	21	28	14	1	16	21	37
加工	売上高	350	347	698	349	352	702	1,400	381	364	746	782	1,528
	営業利益	32	19	52	29	25	55	108	29	38	68	43	111
	経常利益	41	22	63	27	31	59	122	34	28	63	45	108
再生可能 エネルギー	売上高	12	10	22	12	11	23	46	23	21	45	41	86
	営業利益	3	△0	2	3	2	5	8	9	7	16	7	24
	経常利益	3	△0	3	2	3	5	8	12	5	18	8	26
その他	売上高	334	390	725	417	463	880	1,606	350	376	727	929	1,656
	営業利益	△1	16	15	16	45	62	78	6	15	21	19	41
	経常利益	20	62	82	51	87	138	221	40	49	89	65	154
調整額	売上高	△686	△795	△1,482	△774	△657	△1,431	△2,913	△842	△717	△1,559	△1,821	△3,381
	営業利益	△18	△12	△31	△27	△42	△70	△101	△28	△16	△45	△38	△84
	経常利益	△24	△27	△51	△35	△53	△88	△140	△43	△35	△79	△57	△136
合計	売上高	3,626	3,535	7,161	3,653	4,590	8,244	15,406	5,137	4,758	9,895	9,604	19,500
	営業利益	37	81	119	34	78	113	232	128	147	275	134	410
	経常利益	69	114	184	252	104	356	541	186	62	249	380	630

\*1:高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載しております。

# 諸元

## 主要製品の生産・販売動向

項目			24年3月期					25年3月期						
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期
電気銅*1	生産量	千 t	96	109	204	95	113	208	413	112	102	214	197	412
	販売量	千 t	86	99	186	92	111	203	388	102	93	195	187	383
金	生産量	t	9	6	14	4	8	12	26	9	9	19	21	40
	販売量	t	8	6	14	4	8	12	26	9	9	19	21	40
銀	生産量	t	66	61	126	44	65	109	235	81	75	156	157	313
	販売量	t	65	61	126	39	71	110	236	82	74	156	157	313
伸銅品	販売量	千 t	29	31	61	32	31	63	124	29	29	58	63	121

\*1：電気銅生産量は受託分を含んでおります。

## 鉱山配当額の推移

項目			24年3月期					25年3月期						
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期
Los Pelambres	配当額	億円	–	–	–	208	1	210	210	–	–	–	149	149
Escondida	配当額	億円	6	3	9	9	2	12	21	8	–	8	34	42
鉱山配当額計	配当額	億円	6	3	9	217	4	222	231	8	–	8	183	192

## 金属価格・為替の推移

項目		24年3月期					25年3月期						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期
ドル為替レート	円/\$	137	145	141	148	149	148	145	156	149	153	150	151
ユーロ為替レート	円/€	149	157	153	159	161	160	157	168	164	166	160	163
銅価格(LME)	¢/lb	385	379	382	371	383	377	379	442	417	430	400	415
金価格	\$/oz	1,978	1,929	1,954	1,976	2,072	2,024	1,989	2,338	2,476	2,407	2,300	2,353
パラジウム価格	\$/oz	1,449	1,251	1,350	1,085	978	1,031	1,191	972	970	971	1,100	1,036

# 持分法投資損益内訳

(単位：億円)

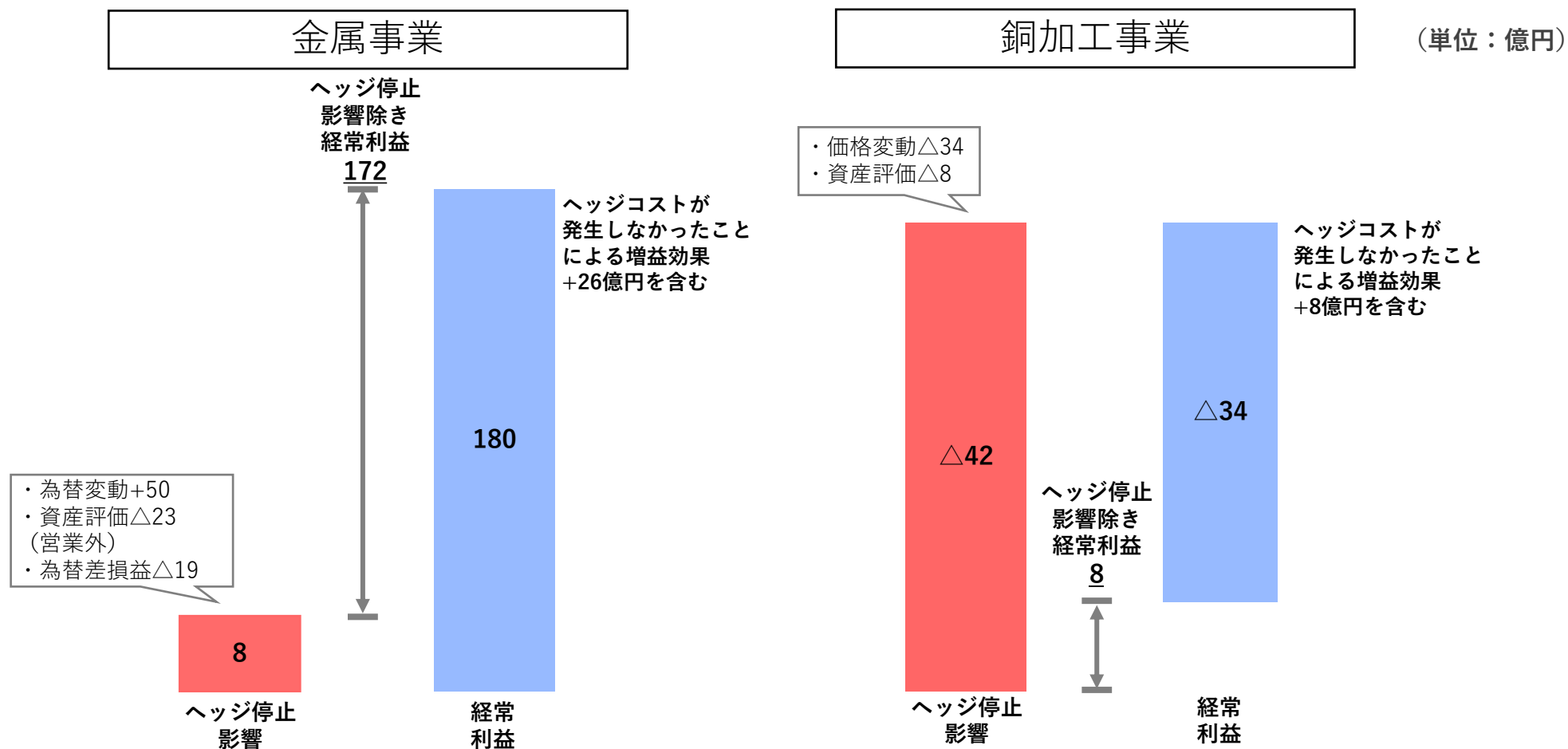
会社名	当社持分	24年3月期							25年3月期				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期	通期
Copper Mountain Mine(BC)Ltd.	25%	△4	△17	△22	5	△5	0	△22	0	△6	△6	△11	△17
Mantoverde S.A.	30%	△12	2	△10	△2	△10	△13	△23	△2	△4	△6	15	9
PT.Smelting * 1	34%	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	7	12
関西リサイクルシステムズ	41.4%	1	1	2	1	1	2	5	1	1	3	2	5
フジクラダイヤケーブル*2	22%	2	1	4	2	2	5	9	3	0	4	4	8
湯沢地熱	30%	0	0	0	2	1	4	4	3	△0	3	4	7
UBE三菱セメント	50%	20	47	67	29	41	70	138	36	36	72	26	99
その他		1	1	2	1	△2	△0	2	2	△0	1	2	3
合計		7	37	45	41	28	70	115	45	31	76	52	128

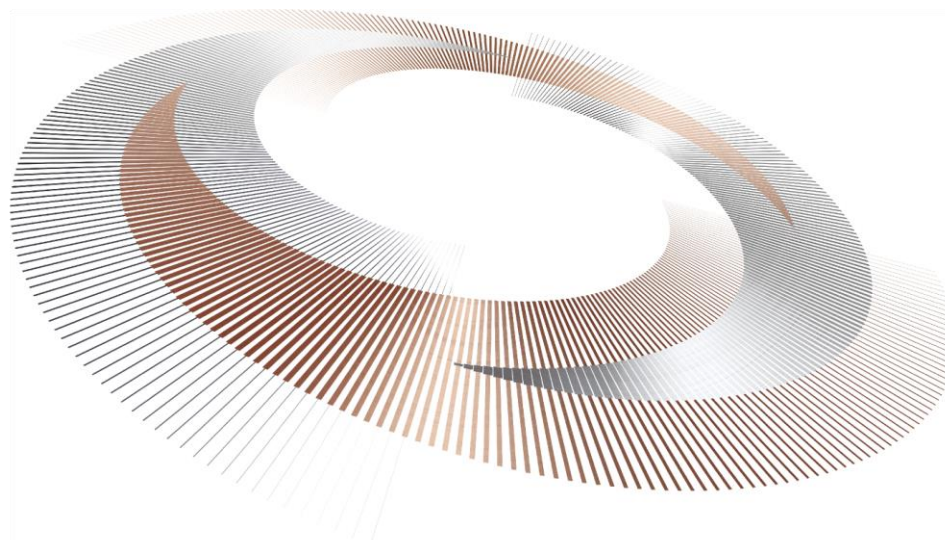
\* 1:第三者割当増資の完了に伴って持分比率が低下したため、25年3月期第2四半期より持分法適用関連会社として損益取り込み

\* 2:24年3月期当社持分22.5%、25年3月期当社持分22%

# 25年3月期上期実績（ヘッジ停止関連概要）

- 金属事業：経常利益180億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は+8億円（営業利益影響+27億円、経常利益影響△19億円）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は172億円となった。ヘッジコストが発生しなかったことで上期で+26億円の増益効果もあった。
- 銅加工事業：経常利益△34億円に対して、ヘッジを停止したことによる収益影響は△42億円（営業利益影響として）であった。ヘッジ停止影響を除いた経常利益は8億円と黒字を確保した。ヘッジコストが発生しなかったことで上期で+8億円の増益効果もあった。
- 上期全体での金属事業と銅加工事業を合わせたヘッジ停止による収益影響は、為替・価格変動などで△34億円、ヘッジコストが発生しなかったことで+34億円の増益効果となり、合計では、±0億円となった。





人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する





## 注意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来の計画等は、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものであり、実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の計画等と大きく異なる可能性があります。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

## お問合せ先

三菱マテリアル株式会社  
コーポレートコミュニケーション室 IRグループ

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

[ml-mmccir@mmc.co.jp](mailto:ml-mmccir@mmc.co.jp)

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>